



津山市 梅の里公園 ©Tsuyama city

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

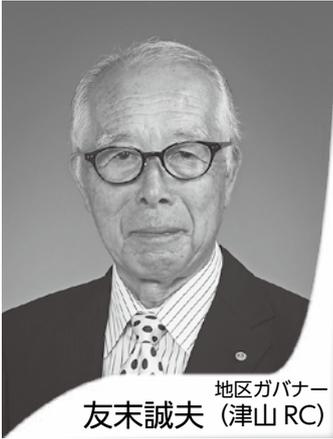
地区ガバナーメッセージ	2-3
諮問委員会 次第	4
ガバナー補佐会 次第	5
クラブ報告	6-7
出席報告	8

Rotary International District 2690 2022-23

2022-23年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

国際ロータリー第2690地区(鳥取・島根・岡山)
2022-23年度地区ガバナー
友末 誠夫

Vol.9



地区ガバナー
友末誠夫 (津山 RC)

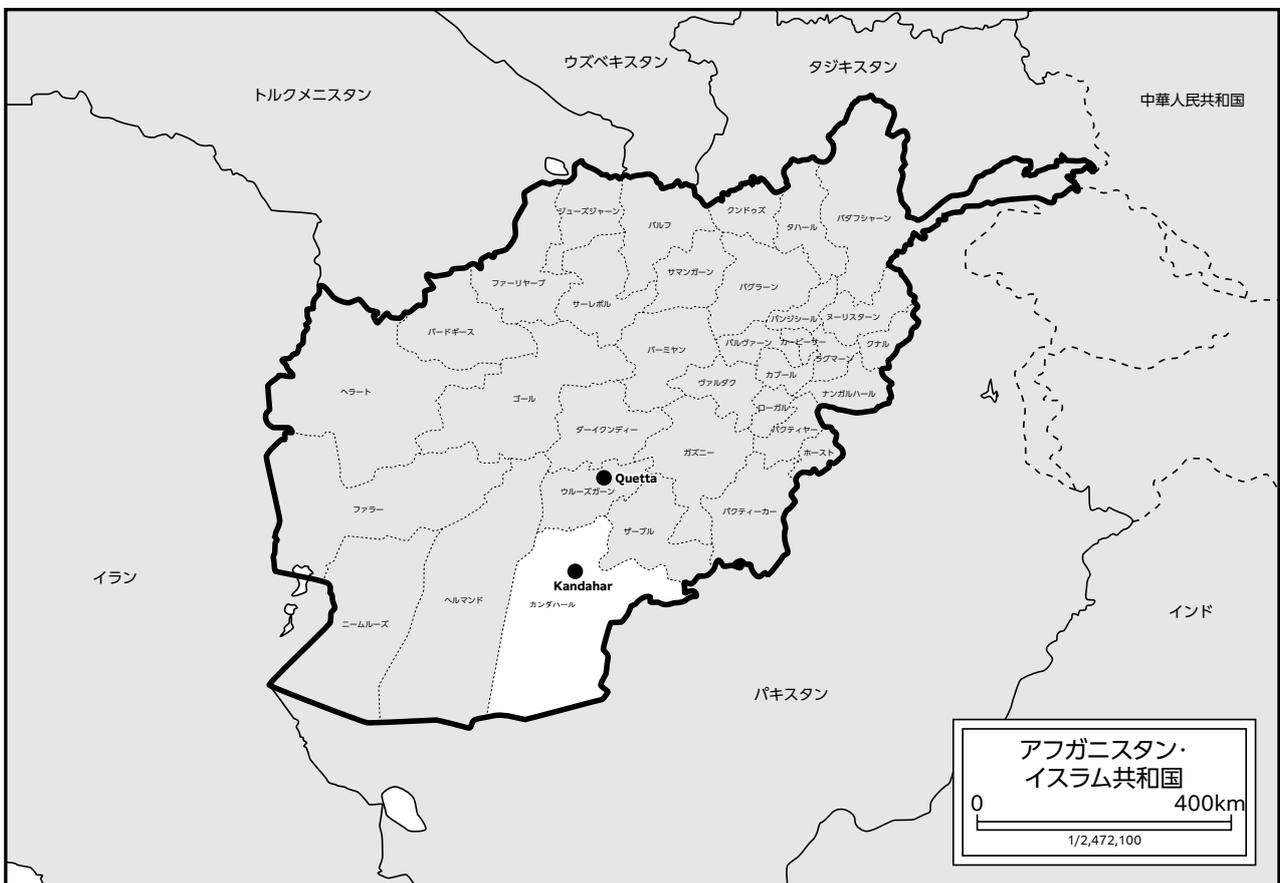
水と衛生月間によせて

私達日本人には、古くから風呂に入って体を綺麗にし、心を休める生活習慣が定着しています。「水＝衛生」は、今日、先進国共通の意識次元ですが、世界の未開な民族地域にはこの様な意識次元が存在しないと云っても過言ではないのです。

私は 1980 年代の終わり頃、アフガニスタンのカンダハル (Kandahar) に建設される食品生産工場の設備設置の打合せに大手商社の担当者とパキスタン人の通訳と運転手の 4 人がパキスタン北部のクエッタ (Quetta) で合流して日本製の 4 駆の自動車に日本製ビールと日本茶のペットボトルを多数積み込み、最後に 20L 缶入りの補給用燃料 4 缶積を積み終えると、パキスタン北部のアフガニスタンのカンダハル (Kandahar) に向かいました。

道中は年間を通して雨が降らない乾燥大地を長時間移動するので、飲み物類は必要不可欠でした。飲料水は道中でも入手出来ますが水質が懸念され、品質が整っている飲み物に慣れている日本人は抗体性が弱いので病原菌の侵入を招いて思わぬ疾病に至る可能性を心配した商社担当者が用意したものでした。

アフガニスタンは、イスラム教文化国の中でもイスラム原理主義を堅持する国で、先進国の生活習慣や社会通念等の異文化の侵入を嫌う独特の生活社会文化国であると聞いているだけに、アフガニスタンの国境検問で、どの様な入国理由が問われるのかと、関心の度合いを高め



ていましたが、検問係官に目的理由等の書類を見せると、「国内に於いて自由勝手な写真撮影と録音禁止！」だけが云い渡され、アフガニスタン第二の都市カンダハル (Kandahar) に向いました。道路の左右には乾燥地帯の丘陵大地が広がり地域民族の集落が点在していました。その一つの集落の広場に 20 数人の住人男性達が両手にバケツを持って何処かに出掛け様としていましたので、車を止めて理由を聞くと、手足の不具合な動きの男性が「片道 1 時間の道程を今日もこれから連中と共に徒歩で丘陵地の麓の小さな窪地の水溜井戸に水汲みに出掛けるところだ！この水で我々はこの地で 2,000 年以上もアラーの神の下で生活しているのだ！」と、通訳を介して言葉が返って来ました。この時に彼等の体臭が鼻を突く程強烈だったのが強く印象に残っていますが、同時にこの様な乾燥大地での生活に水の日々の確保は大変だと直感、そして水汲みに集う住人男性の足や腕の不具合な動きを見せる男性が他にも数人いましたので水汲みの重さが原因かと思って通訳に問い正すと、「昔からこの地域民族の赤ちゃんから幼少期に発症する風土疾患で、イスラムの古典祈祷師が疾患除去の祈祷を行ってその蛇を払い除けるが、祈祷が不十分であるとあの様になるのだ！」との説明を受け、私は地球上には私達の知らないことが多くあるのだと考えてしまいました。

微風が吹く度に微細な土粉は空気に融合して浮遊、車のフロントガラス全面に土粉が薄く付着、その様な乾燥地域の民族が暮らす小さな一連の家屋はどれも土の厚い壁で造られた独特の景観でしたので住人に聞きますと、「古来イスラム文化の民家の様式で、土に水を加えて粘土にして型に入れて日干にすると、幾種かの形状の日干しブロックが出来、それを手作業で積み重ねて造った家屋だ。壁にブロック積が行われていない解放口に簡素な簾を施しているのが窓だ。家屋の中の気温は概ね安定、年中居心地が良い！」と語った住人は私達を屋内に案内、家屋の中も広場に集まっていた男性達と同じ独特の臭に包まれていました。その住人は「我々は古来水で体を洗う習慣は無く、家屋の中で水を使うのは日常の食べ物を作る時だけ、屋内にトイレが無いのも我々の伝統生活文化だ。我々には屋外の路上が日常のトイレで、路上で用を済ませると翌朝には紛になって外気と共に空に舞い上がり残物は無くなる！我々の生活には外国人が云う様な風呂やシャワーを浴びる習慣は無く、身に着けた下着は破けるまで使うのだ！」と、語ったので驚きました。彼等に体を洗う生活習慣が無いことや貴重な水を使ってまでして衣服の洗濯もしない生活習慣を知ったのです。それ故に体臭が屋内にも淀むほど水の恩恵に恵まれていない彼等の生活文化の実態を知ると共に、私達が立ち去る時に地域の頭と思われる長老が「水は古来大切に手で扱うイスラムの古典生活様式が継承されているのだ！」と、語った言葉が思い出されるのです。

帰国後、同行した商社担当者から「集落の住人男性の手足の動作が異常なのは、伝染性疾患のポリオである」と知らされ、商社担当者の勤務先の大手商社の専属病院に行って検査を受けましたが、我々にその感染が無いことが判明しホッとしました。不衛生な生活環境や生活習慣は必然的にポリオの様な感染性疾患を招くことも知りました。良質な水に恵まれた私達の「水＝衛生」の生活習慣は、日本独特の自然環境への感性が生き付いていることは云うまでもありません。

2022-23年度国際ロータリー第2690地区 第2回諮問委員会 次第

日時：2022年10月1日(土) 11:20～12:40
会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸
司会：地区副代表幹事 長谷川 隆嗣

1. 開会
2. 配布資料の確認
3. 出席者紹介
4. 地区ガバナーあいさつ
5. 報告事項

① 2021-22 年度地区会計報告について	直前地区代表幹事	吉田 博
② 信任状委員会・選挙管理委員会・大会決議委員会について		
③ 地区指導者育成セミナーについて		
④ 地区大会について		
⑤ 地区世界社会奉仕委員会報告について	地区世界社会奉仕委員長	古瀬 俱之
⑦ 令和4年8月青森県大雨災害支援金について		
⑧ 地区行事予定について		
⑨ 地区組織図について		
⑩ その他		
6. 地区ロータリー財団事務所より
7. 石倉貞昭地区ガバナーエレクト事務所より
8. 次回開催日の確認 2022年12月10日(日) 16:30～17:20 会場：ホテル一畑
9. 閉会

2022-23年度国際ロータリー第2690地区 第3回諮問委員会 次第

日時：2022年12月10日(土)
会場：ホテル一畑
司会：地区庶務幹事 永禮 恭司

1. 開会
2. 配布資料の確認
3. 出席者紹介
4. 地区ガバナーあいさつ
5. 坂口元昭ガバナーノミニ・デジグネートあいさつ
6. 報告事項

① 青少年交換派遣学生選考結果について		
② 地区世界社会奉仕委員会報告について	地区世界社会奉仕委員長	古瀬 俱之
③ 「世界POLIO-DAY」の取組状況について		
④ 地区行事予定について		
⑤ 地区組織図について		
⑥ メルボルン国際大会・日本人親睦朝食会について		
⑦ その他		
7. 地区ロータリー財団事務所より
8. 石倉貞昭地区ガバナーエレクト事務所より
9. 次回開催日の確認 2023年2月12日(日) 11:00～12:00 (10:30より受付) 会場：ホテル一畑
10. 閉会

2022-23年度国際ロータリー第2690地区 第4回諮問委員会 次第

日時：2023年2月12日(日)
会場：ホテル一畑
司会：地区副代表幹事 長谷川 隆嗣

1. 開会
2. 配布資料の確認
3. 出席者紹介
4. 地区ガバナーあいさつ
5. 国際協議会報告
6. 報告事項

① 2023 学年度ロータリー米山記念奨学生選考結果について		
② 2023 学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会について		
③ ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) について		
④ 第15回全国RYLA研究会 札幌会議について		
⑤ 地区行事予定について		
⑥ 地区委員会組織図について		
⑦ その他		
7. 地区ロータリー財団事務所より
8. 石倉貞昭地区ガバナーエレクト事務所より
9. 次回開催日の確認 2023年3月4日(土) 11:00～12:00 (10:30より受付) 会場：ホテル一畑
10. 閉会

国際ロータリー第2690地区 第2回 ガバナー補佐会 次第

日時：2022年10月1日(土) 10:00～11:00
会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸

- | | | | | |
|-------------------|------------|------------------|-------------|--|
| 1. 開会 | 司会 | 2022-23 年度地区幹事 | 高原 | 孝 |
| 2. 配付資料の確認 | | | | |
| 3. 地区ガバナーあいさつ | | 地区ガバナー | 友末 | 誠夫 |
| 4. 地区ガバナーエレクトあいさつ | | 地区ガバナーエレクト | 石倉 | 貞昭 |
| 5. 地区ガバナーノミニーあいさつ | | 地区ガバナーノミニー | 榊原 | 敬 |
| 6. 地区研修リーダーあいさつ | | 地区研修リーダー | 松本 | 祐二 |
| 7. 議題 | | 地区代表幹事 | 河本 | 秀生 |
| | | | | ① 信任状委員会・選挙管理委員会・大会決議委員会について |
| | | | | ② 地区指導者育成セミナーについて |
| | | | | ③ 地区大会について |
| | | | | ④ ガバナー公式訪問日程について |
| | | | | ⑤ IMの準備状況について(担当ガバナー補佐より報告) |
| | | | | ⑥ 2022-23 年度国際ロータリー役員および第2690 地区委員会組織図について |
| | | | | ⑦ 地区行事予定について |
| 8. 次回開催日の確認 | | | | |
| | 第3回ガバナー補佐会 | 2023年1月22日(日) | 11:30～14:00 | |
| | | 会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸 | | |
| 9. 閉会 | | | | |

国際ロータリー第2690地区 第3回 ガバナー補佐会 次第

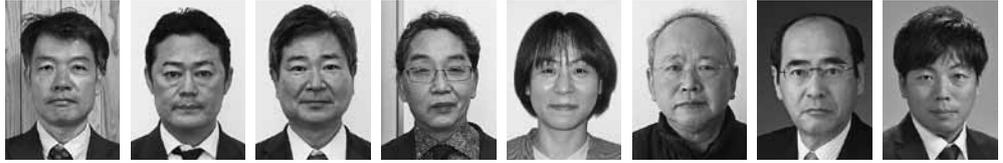
日時：2023年1月22日(日) 11:30～14:00
会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸 桜華

- | | | | | |
|-------------------|------------|------------------|-------------|--|
| 1. 開会 | 司会 | 2022-23 年度地区幹事 | 高原 | 孝 |
| 2. 配付資料の確認 | | | | |
| 3. 地区ガバナーあいさつ | | 地区ガバナー | 友末 | 誠夫 |
| 4. 地区ガバナーエレクトあいさつ | | 地区ガバナーエレクト | 石倉 | 貞昭 |
| 5. 地区研修リーダーあいさつ | | 地区研修リーダー | 松本 | 祐二 |
| 6. 議題 | | 地区代表幹事 | 河本 | 秀生 |
| | | | | ① クラブの評価について |
| | | | | ② ロータリー賞目標設定状況について |
| | | | | ③ 「世界POLIO-DAY」の取り組み状況について |
| | | | | ④ 2023-24 年度ロータリー青少年交換派遣学生選考結果について |
| | | | | ⑤ 2023 学年度ロータリー米山記念奨学生選考結果について |
| | | | | ⑥ 2022-23 年度国際ロータリー役員および第2690 地区委員会組織図について |
| | | | | ⑦ 地区行事予定について |
| | | | | ⑧ その他 ・地区ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)について |
| 7. 次回開催日の確認 | | | | |
| | 第4回ガバナー補佐会 | 2023年6月11日(日) | 11:30～14:00 | |
| | | 会場：ザ・シロヤマテラス津山別邸 | | |
| 8. 閉会 | | | | |

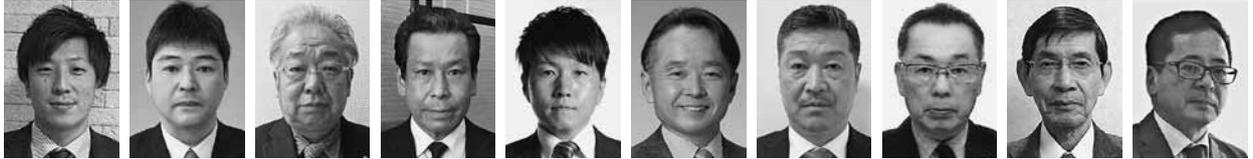
2023年 1月

地区だより

新会員紹介



柴田 秀信 境港RC 新田 英明 米子RC 古山 英明 米子RC 大橋 賢二 米子中央RC 井上 玲子 米子東RC 木村 文彦 平田RC 大谷 厚郎 平田RC 村松 英俊 出雲南RC



竹本 優輝 江津RC 清水 健市 笠岡RC 丸山 博之 新見RC 川西 卓 総社吉備路RC 佐藤 雷 児島RC 大場満寿夫 倉敷RC 盛本 哲也 美作RC 田中 雅彦 岡山東RC 富岡 昌俊 岡山旭川RC 山本 宣良 岡山北RC



佐藤 康之 岡山岡南RC 土井 尚 岡山西RC 五藤 亜紀 岡山西RC 南 善子 岡山西RC 梶原 悠希 岡山西RC

ロータリー財団への寄付

メジャー
ドナー
レベル2



庄司 尚史
境港RC

メジャー
ドナー
レベル1



石倉 貞昭
松江しんじ湖RC

ベネ
ファクター
(恒久基金)



岡村 和則
岡山後楽園RC

ポール・
ハリス・
フェロー
(ポリオ
プラスへの寄付)



藤井 慎吾
井原RC



川井 雅樹 井原RC 3 三宅 教夫 井原RC 1 西野 昇 井原RC 3 妹尾喜美子 井原RC 2 筒井 保太 井原RC 7 目黒隆三郎 倉敷RC 1 山下 貴司 岡山東RC 1 荒木 裕之 岡山後楽園RC 2 明石 拓爾 岡山中央RC 1 藤原 征治 岡山中央RC 1



森川 敦詞 岡山中央RC 1 中田 昌子 岡山中央RC 1 田中 弘之 岡山中央RC 1 荒木 雷太 岡山中央RC 4 中野 和之 岡山中央RC 4 石津日出雄 岡山中央RC 5 伊澤 正信 岡山南RC 51 室山 英良 岡山丸の内RC 2 渡辺 誠 岡山丸の内RC 6

ポール・ハリス・フェロー
(年次基金への寄付)



野々村健造 7 原田 俊三 4 平井 俊光 2 赤木 匠 3 池上 孝 4 大角 雄三 5 内山 満義 7 廣野 景治 1 佐藤 芳郎 61
松江南RC 笠岡東RC 玉島RC 岡山後楽園RC 岡山後楽園RC 岡山後楽園RC 岡山後楽園RC 岡山北RC 岡山南RC

クラブポリオプラス

岡山西南RC 1,155.00ドル
井原RC 418.85ドル

クラブ年次基金

出雲南RC 11.00ドル (新会員寄付)
玉島RC 700.00ドル (その他)
笠岡東RC 168.18ドル (ミリオンダラーミール)
笠岡東RC 227.27ドル (ゴルフ同好会寄付)

メモリアル・コントリビューター

岡山後楽園RC 大角 雄三 母 中田歌子のために

米山記念奨学会への寄付

米山功労者



野坂 美仁 5 永野 雅博 7 居森 正而 2 那須 保友 1 三宅 照正 3 藤原 拓志 1 儀間 剛 1
米子東RC 大田RC 岡山後楽園RC 岡山後楽園RC 玉野RC 玉野RC 岡山丸の内RC

クラブ特別寄付

出雲中央RC 3,000円 (新会員寄付)
出雲南RC 5,000円 (新会員寄付)
笠岡東RC 30,000円 (ゴルフ同好会寄)

クラブ普通寄付

出雲中央RC 120,000円	隠岐西郷RC 42,000円
総社RC 37,500円	浜田RC 145,000円
倉敷南RC 189,000円	津山RC 247,500円
倉敷RC 300,000円	平田RC 87,500円
岡山南RC 474,000円	笠岡RC 144,000円
玉島RC 70,000円	笠岡東RC 120,000円
児島RC 50,000円	岡山丸の内RC 153,000円
倉吉中央RC 42,500円	岡山北RC 122,500円
松江RC 162,500円	岡山北西RC 105,000円
松江東RC 112,500円	鳥取RC 180,000円
松江しんじ湖RC 122,500円	岡山西南RC 125,500円
隠岐西郷RC 3,000円	岡山岡南RC 57,500円

謹んで哀悼の意を表し ご冥福をお祈りします

訃報



犬飼 泰介
岡山備南RC
ご逝去日/2023年1月25日
享年/56歳
入会日/2004年10月6日



木口 省吾
岡山RC
ご逝去日/2023年1月24日
享年/88歳
入会日/1970年7月15日

出席報告 (2023年1月)

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	1月 末日	内女性 会員	増減	
第一グループ	智 頭	90.00%	2	5	5	0	0
	倉 吉	79.33%	4	40	39	1	▲1
	倉吉中央	73.53%	2	18	17	2	▲1
	倉吉東	99.44%	4	47	46	5	▲1
	鳥 取	80.12%	3	57	59	3	2
	鳥取中央	65.00%	2	32	30	2	▲2
	鳥取北	72.78%	4	47	48	6	1
	鳥取西	76.79%	3	56	55	2	▲1
小計(8)	—	—	302	299	21	▲3	
第二グループ	境 港	84.62%	2	43	43	1	0
	米 子	63.57%	2	67	69	5	2
	米子中央	70.89%	2	40	43	1	3
	米子東	65.42%	2	105	109	13	4
	米子南	74.57%	4	70	70	5	0
	小計(5)	—	—	325	334	25	9
第三グループ	松 江	80.46%	3	63	65	1	2
	衛星クラブ	60.00%	2	10	10	5	0
	松江東	77.78%	3	46	45	4	▲1
	松江南	79.66%	2	63	65	6	2
	松江しんじ湖	67.58%	4	44	48	11	4
	隠岐西郷	72.92%	4	21	24	2	3
小計(5)	—	—	247	257	29	10	
第四グループ	平 田	84.31%	3	34	37	2	3
	出 雲	80.32%	4	49	48	1	▲1
	出雲中央	76.09%	3	46	48	3	2
	出雲南	79.15%	3	78	83	7	5
	大 社	68.25%	3	50	50	4	0
	小計(5)	—	—	257	266	17	9
第五グループ	江 津	72.27%	3	37	41	2	4
	浜 田	60.92%	3	53	58	3	5
	益 田	54.39%	3	18	19	2	1
	益田西	54.76%	3	28	29	1	1
	大 田	61.54%	3	25	25	3	0
	小計(5)	—	—	161	172	11	11
第六グループ	井 原	70.87%	3	42	40	1	▲2
	笠 岡	82.32%	4	46	49	4	3
	笠岡東	86.09%	4	40	40	0	0
	新 見	76.47%	3	21	24	3	3
	総 社	59.62%	4	16	15	2	▲1
	総社吉備路	81.25%	3	25	27	1	2
	高 梁	84.68%	3	36	37	1	1
	玉 島	90.91%	4	29	28	4	▲1
小計(8)	—	—	255	260	16	5	

クラブ名	ホームクラブ 出席率 (%)	例会 数	会員数				
			7月1日	1月 末日	内女性 会員	増減	
第七グループ	児 島	67.50%	2	21	21	0	0
	児島東	93.55%	3	11	11	0	0
	倉 敷	85.39%	4	73	76	1	3
	倉敷中央	79.49%	3	15	16	5	1
	倉敷東	81.01%	3	34	32	3	2
	倉敷南	73.91%	3	58	63	3	5
	倉敷水島	83.33%	2	20	19	1	▲1
	倉敷瀬戸内	52.88%	3	38	37	1	▲1
	小計(8)	—	—	270	275	14	9
第八グループ	真 庭	80.00%	3	31	30	1	▲1
	美 作	82.67%	3	26	26	2	0
	津 山	73.37%	4	100	99	5	▲1
	津山中央	91.18%	3	13	12	3	▲1
	津山西	91.58%	3	35	34	4	▲1
	小計(5)	—	—	205	201	15	▲4
第九グループ	備 前	67.29%	3	41	43	5	2
	岡 山	76.05%	3	114	118	5	4
	岡山東	83.83%	3	94	96	0	2
	岡山北西	73.02%	3	40	42	2	2
	岡山後楽園	65.84%	4	51	51	0	0
	小計(5)	—	—	340	350	12	10
第十グループ	岡山旭川	54.55%	3	34	37	1	3
	岡山中央	67.00%	4	26	25	5	▲1
	岡山北	68.67%	3	50	50	4	0
	岡山南	68.53%	4	160	157	20	▲3
	玉 野	69.14%	3	26	25	0	▲1
	小計(5)	—	—	296	294	30	▲2
第十一グループ	岡山備南	84.62%	3	21	20	1	▲1
	岡山城	84.81%	4	20	21	1	1
	岡山岡南	75.56%	4	19	24	2	5
	岡山丸の内	67.16%	4	48	51	3	3
	岡山西	71.54%	4	68	70	10	2
	岡山西南	78.13%	4	50	50	7	0
小計(6)	—	—	226	236	24	10	

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2022年7月1日会員数	2882名
2023年1月末日会員数	2946名
内 女性会員数	214名
純増	64名
2023年1月出席率(ホームクラブ)	74.85%

